

与論町海洋教育プログラム(提案書)

実施者：一般社団法人E-Yoron / 池田 龍介
 連絡先：090-4347-5626 / yunnu1127@gmail.com

テーマ	<input type="checkbox"/> 海に親しむ	<input type="checkbox"/> 海を知る	<input checked="" type="checkbox"/> 海を守る	<input type="checkbox"/> 海を利用する
学習のねらい	「海ごみ」を拾おう！ 与論島内の海岸へ行き、実際に「海ごみ」を拾う。その現状を体感し、地域課題への主体性や積極性を育む。			
身に付けたい 資質・能力	<input type="checkbox"/> 情報収集・判断	<input type="checkbox"/> 対話	<input type="checkbox"/> 問題解決	<input type="checkbox"/> 持続的利用
	<input type="checkbox"/> 感動	<input type="checkbox"/> 関係	<input type="checkbox"/> 主体	<input type="checkbox"/> 継続
実施について	対象：小学3～4年生	時期：通年で可	場所：海岸	時間：45分～
内容	<ul style="list-style-type: none"> ●担任の先生の挨拶、健康チェック、今日の流れの説明(5分) ●「海ごみ」について①(15分) <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別(可燃物／不燃物／※マイクロプラスチック) ・ガラス片や注射針は素手では触らないこと ・バーコード番号で国籍(どこから流れてきたか)が分かること ●ごみ拾い(ビーチクリーン)(30分) 各自or 4人程度のグループに分かれてごみ拾い ●30gチャレンジ(15分) 集めたマイクロプラスチックから「30gってどのくらい？」→グループで考える (参考)「亡くなった鳥のお腹に平均30gのプラスチックがあった」という調査報告 ●「海ごみ」について②(10分) <ul style="list-style-type: none"> ・海ごみ・マイクロプラスチックの現状と問題について (魚や鳥の誤飲をはじめとした生物被害) ・使い捨てゴミ増加の社会背景、3Rについて ●まとめ、担任の先生の挨拶(5分) 			
備品	実施者：拾い箱(カゴのみ)、マイクロプラスチック入れ 実施者or 学校：ゴミ袋、はかり 生徒：軍手、帽子、飲み物			
その他				